

作品 No.220



生きものの“つぶやき”:

「まだ見ぬ世界へ！」

エッセイ:

この子はたぶん生まれて1・2日の赤ちゃんです。外の世界を不安そうに見ているように思えます。小学生の時にはよくカナヘビの卵を捕まえてふ化させていました。小さい卵からそのままの形で出てくるのが不思議で可愛くて大好きでした。カナヘビの赤ちゃんは生き餌しか食わず、とても小さい口なので、極小コオロギを捕まえるために、公園を駆けまわっていたことを思い出します。生まれたてはまだ動きがぎこちなく、小さな蜘蛛に食べられてしまうこともあります。この子には元気に大きくなって欲しいと思いました。(238字)

生きものの紹介:

カナヘビ 多分生まれたて

撮影場所・日時:

つくば市竹園・8月2日8時

応募者の自己紹介:

1. 樋野夏希／茨城県立並木中等教育学校 4年
2. 所属：テニス部
3. 将来の夢：生き物の研究者

審査委員会からのコメント

生きものへの愛を感じるエッセイが良いですね。写真の構図もよく、タイトルともマッチしています。物語が感じられる作品です。